

# 支部における社会貢献活動

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 / 調査課長 幡豆英哉

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）の各支部では、それぞれの地域で開催される水環境や上下水道にかかわる各種イベントや社会に貢献できる活動に積極的に参加しています。

令和5年、各支部が参加した社会貢献活動を以下にご報告致します。

## (1) 「水循環パネルの貸し出し事業」 北海道支部

北海道支部では支部で作製した水循環パネルを、毎年様々な会場へ貸し出しを行っています。令和5年度は、5月25日～7月4日に「足寄町」、7月25日～8月18日に「新ひだか町」、9月12日～9月14日に「北海道」へそれぞれ水循環パネルをお貸しして、パンフレットを配布いたしました。足寄町では小学生の上下水道に関する授業の中で活用していただきました。新ひだか町では「上下水道パネル展」で会場の新ひだか町図書館・博物館及び総合町民センターで展示並びにパンフレットの配布をしていただき、訪れた多くの方々に水循環への理解を深めていただきました。また、北海道では下水道の日に合わせて北海道庁1階ロビーにて開催された「下水道パネル展」で展示及びパンフレットの配布をしていただきました。



写真-1 足寄小学校での活用状況（1）



写真-2 足寄小学校での活用状況（2）



写真-3 北海道庁での下水道パネル展

## (2) 「広瀬川1万人プロジェクト ～第33回 広瀬川流域一斉清掃～」 東北支部

開催日時：2023年9月23日（土）10：00～12：00

広瀬川1万人プロジェクトは、杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、主な活動として、春と秋の年2回実施されている流域一斉清掃があります。

水コン協東北支部が参加した秋の一斉清掃では、4年ぶりに参加人数の制限なしでの開催となり、全20会場（昨年19会場）で1,562名（昨年1,400名）、集めたゴミは



写真-4 広瀬川で清掃作業をする東北支部の皆様



写真-5 清掃活動に参加した東北支部の皆様

281袋(昨年260袋)になり、昨年を上回る規模となりました。水コン協東北支部は、今回で16回目の参加となり、会員15社(昨年15社)から59名(昨年38名)の方々に参加しました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

今年も昨年と同様に、秋晴れの中、素晴らしいコンディションでしたが、みなさんはゴミを見つけ出すのに大変苦労していました。このため、早い段階で清掃活動を終えていた方々もあり、各々が広瀬川の自然に親しみながら、時間を有意義に活用していたようです。

水コン協東北支部では、これからも多くの市民が広瀬川に親しめるよう、流域の自然環境を守る活動に貢献していきたいと思います。

**(3)「仙台市下水道フェア」** 東北支部

開催日時：2023年9月3日(日)10:00~15:00

東北支部では、毎年11月3日の文化の日に「青葉区民まつり」に併設される「仙台市下水道フェア」に「下水道のがっこう」を出展してきました。今年は、仙台市庁舎の建替え工事の影響もあり、開催時期が前倒しされ、9月3日の「エコフェスタ2023」のイベントの一環として開催されました。エコフェスタは、楽しみながら3R



写真-6 水コン協出展サイトの様子



写真-7 参加者とのふれあいの様子

やエコライフについて学べる環境イベントで、下水道の役割や大切さを市民に知ってもらうことを目的として「仙台市下水道フェア」が参加するかたちとなりました。「仙台市下水道フェア」は、コロナの影響もあり、2019年以來の開催となり、水コン協としても準備を重ねて、当日を心待ちにしていました。

イベント当日は、9月ということでもだまだ気温も高く、熱中症にも注意をしながら、たくさんの市民の方々にもご参加いただき、盛況となりました。

「下水道のがっこう」では、下水道にまつわるクイズの出題や「つまらん管」の実演実験を実施しました。実演実験は、参加型としており興味津々にのぞき込む子供達も多く、クイズの参加者にはクジにより景品を提供し、参加者の方には大変喜んでいただきました。

水コン協東北支部では、下水道フェアへの参加を通じて、協会PRのみならず、市民の方々にも下水道に関心を持っていただく大変重要な機会として捉え、今後も引き続き継続して参加したいと思います。

**(4) 第20回「身近な水環境の全国一斉調査」** 関東支部

「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと河川管理者が連携して実施する「全国水環境マップ実行委員会」が主催して行う水環境の調査活動で、2022年の調査までに全国で延べ約12万8千人が参加しています。

20回目となる「身近な水環境の全国一斉調査」は、令和5年6月4日(日)《※世界環境デー(6月5日)の前後》に実施され、会員会社10社及び本部事務局の社員と



写真-8 (株)日水コン石川様のご家族

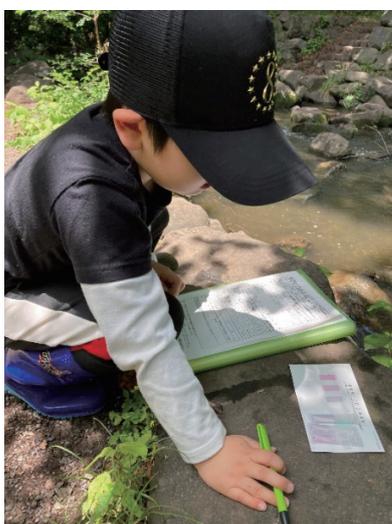


写真-9 (株)日水コン中村様のご家族

その家族の合計134名(大人104名、子供30名)が水質調査に参加しました。

調査地点は、参加者が生活されている地域の身近な河川・湖沼等の81地点で、COD測定と水辺の環境や動植物について観察を致しました(去年は132名(大人99名、子供33名)、79地点で水質調査に参加)。毎年、参加された方あてに、この調査活動についてのアンケートをお願いしていますが、参加された方からは「家族で水環境に興味を持てる良い機会になっています。」などの嬉しい感想がお寄せいただきました。

#### (5) 第10回「出前授業」

#### 中部支部

令和5年6月、今年も名古屋市立栄小学校のご協力のもと10回目となる「出前授業」を開催することができました。出前授業は、小学校4年生を対象に授業の1コマをお借りし、中部支部の総務・広報委員が先生役となって「下水道の仕組み」や「正しい使い方」等について生徒に学んでもらう活動です。

出前授業の授業内容は2つあります。1つ目は、委員



積極的に授業に参加する生徒さんたち

写真-10 出前授業の様子



ティッシュは解けずに……

写真-11 ようかい実験の様子

が「下水道橋博士」に扮して下水道の仕組みについてクイズを交えて分かり易く説明します。更に今年は「博士の弟子」を追加動員し、水コンサルタントの具体的な仕事内容も紹介するなど水コンの活躍をPRしました。(写真-10)

2つ目は、「ようかい実験」(溶解と妖怪をかけたもの)です。別々のペットボトルにティッシュペーパーとトイレtpペーパーを入れて力一杯にシェイクしてタライに排水し、溶け方の違いを実験します。トイレにティッシュペーパーをなぜ流してはいけないのか、実験を通して体感してもらいました。この実験は、結果がとても伝わりやすく、毎年生徒さんに大変好評です。(写真-11)

授業の後日にいただいたアンケート結果と生徒さんからの感想(お便り)の一例をご紹介します。(図-2)令和5年の出前授業も大変好評で、手応えのある結果となりました。委員一同、来年も元気な新4年生に出会えるのを楽しみにしています。

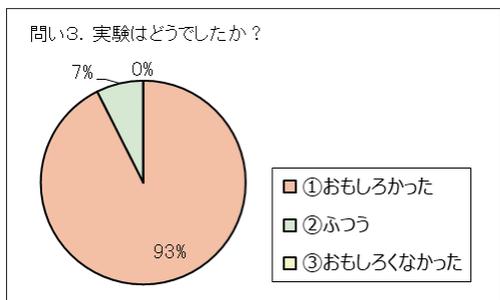
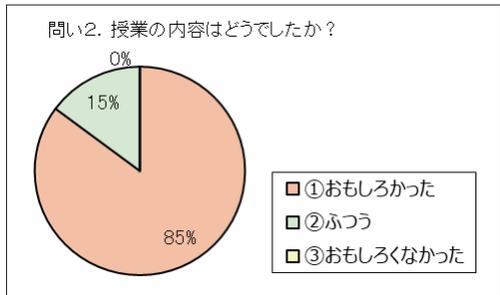
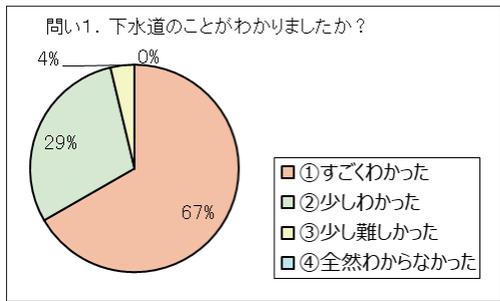


図-1 出前授業のアンケート結果

問い4. 今日の授業を受けた感想を書いて下さい。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

100

私の家のせみめしむの下のドアにも、糸虫(これのこと)のような開きの虫がいました。実馬舎はおもしろかったのですが、なぜ、トイレトペーパーがとけるのが知れたのです。色々教えてくれてありがとうございました

問い4. 今日の授業を受けた感想を書いて下さい。

実馬舎がおもしろかったし授業もおもしろかったけど、ちょっとむずかかったです。もう一回、じゅぎょうがほしいです。使った水がどうなるのを知りたかった。なので聞いてよかった。水のお仕事やってみたいです。ありがとうございました

問い4. 今日の授業を受けた感想を書いて下さい。

すごく分かりやすかったし、実験もおもしろくて、ティッシュが水でとけないことが分かりました。

今日は色々なことを教えていただきありがとうございました、これからもお仕事がんばってください!

図-2 出前授業の感想 (お便り)

(6) 「夏だ！ワクワク科学館まつり2023」 中部支部

中部支部では、富山県と愛知県の夏の下水道関連イベントに交互に出展し協会活動をPRしています。今年は今和5年8月19日に愛知県のメタウォーター下水道科学館あいちで開催された「夏だ！ワクワク科学館まつり2023」に参加しました。

当協会ブースでは恒例となる「ゲームDEゲット！」と称したダーツゲームを出展し、当たった番号に応じて「中部各地のおいしい水道水」を景品として協会PR用の団扇とともに配布を行いました。当日は猛暑の中、大勢の子供連れの来場者皆さまにゲームを楽しんでいただき、用意した景品のペットボトル約500本が想定より早く品切れとなるなど当ブースは大盛況となりました。(写真-12)

来年は富山県のイベントにお邪魔して協会活動をPRしたいと思います。



写真-12 科学館まつり2023参加の様子

(7) 「森造り協力事業(水源涵養)」開催 中部支部

中部支部では東海地区の水源地域である長野県木曾町との共催により「水源涵養事業」に継続して開催しており、参加者は「枝打ち」等の奉仕作業を通して水源林の保全の重要性に想いを馳せています。令和元年は豚熱、その後はコロナ禍のため令和4年までは開催中止となっ



始めると夢中になって黙々と…

写真-13 枝打ち作業の様子



日差しが入って明るくなりました！

写真-14 作業後の森林の様子



ひととき子供に戻って…

写真-15 おもちゃ美術館見学の様子

その後、昨年11月にオープンした「木曾おもちゃ美術館」を見学しました。木のぬくもりを感じながら様々なおもちゃを手にとって遊べる体験型の施設で、若手からベテランまで童心に戻って楽しく遊んで帰路につきました。(写真-15)

#### (8) 第20回「身近な水環境の全国一斉水質調査」

関西支部

関西支部では、水環境の一斉調査に参加することにより、全国で同日に実施される調査結果を全国地図に記入することにより、わが国の河川等の水質状況が一目で認識できることに賛同し、関西地区での水環境活動の普及に努めることとし、昨年に引き続き参加しました。令和5年度は6月4日(日)午前を実施し、会員会社で33名の方が参加しました。

調査地点は、参加者が活動されている地域の身近な河川等の31地点で、COD測定(パックテスト)、水温測定と水辺環境や動植物について観察しました。

実施日の2日前に大雨があり、「濁度が高い印象や30年前と比べて少しきれいになった、20~30cmの亀を見つけた」等の報告もありました。また、淀川での報告では、「河川敷で休息の場として賑わっていた反面、川岸を覗くと多少ゴミがあり今後改善の余地がある」と多面的に観察された報告もありました。毎年、水環境の一斉調査に参加することで水環境への関心が高まっていければと考えております。



写真-16 淀川の様子

ていましたが、この度5年ぶりに開催することができました。

午前中は檜の幼木が良質に成育するために下枝を切り落とす「枝打ち作業」を実施しました。作業開始時は肌寒かったですが約1時間の作業後は皆さん良い汗をかいていました。作業前後を比べると、森林内への日差しの量が明らかに増しており、森林の保全作業の重要性や大変さを実感しました。(写真-13、14)

#### (9) 「夏休み水の教室」

関西支部

関西支部では、夏休み期間中に小学生を対象にしたイベントを開催しており、今回は上下水道の役割や水の大切さを勉強して頂くことを目的として、クリアウォーターOSAKA株式会社と共催し、大阪市建設局のご理解を頂き、大阪市下水道科学館において「夏休み水の科学」を企画し、小学生ら40人が参加しました。テーマは、①座学「わたしたちのくらしと下水道」、②観察「水の科学」



写真-17 押領司関西支部長の挨拶



写真-21 顕微鏡観察（活性汚泥微生物）



写真-18 水の科学実験の様子



写真-22 うんこクイズの様子



写真-19 水の科学実験（表面張力）



写真-20 水の科学実験（活性炭による脱色）

実験（表面張力、浸透、微生物の観察）、③クイズ～うんこクイズの内容でした。①の座学では、下水道の役割や下水道科学館近くの海老江下水処理場からサンプリングした活性汚泥の微生物の働きについて説明して頂きました。②の観察では表面張力と大気圧を利用して、水の性質や知識を深めて頂きました。また、浸透の実験では活性炭による脱色で活性炭によって汚れ成分が「吸着」していく作用を観察しました。もう一つの観察は、活性汚泥の中の微生物を顕微鏡で観察しました。子供たちは熱心に観察し、「クマムシ見つけた、動いた」と大喜びでした。

水の教室のラストは「うんこクイズ」。うんこがどのように下水道されてどうなっていくか、4つのクイズに答えてもらいました。「君の1年分のうんこで作った電気で10WのLED電球を何ヶ月照らすことができるか、リンゴ何個が栽培できるか」など。

普段はあまり意識しないけど生活に欠かせない下水道について、また何気なく使っている水に関心を持って頂き、座学や実験を通して水循環の理解を深めて頂きました。

(10) 広島市「下水道ふれあいフェア」 中国・四国支部

広島市主催「下水道ふれあいフェア」が9月10日(日)に広島市西部水資源再生センターで開催されました。

このフェアは、9月10日「下水道の日」にちなんでイベントとして、毎年9月10日前後の日曜日に行われており、中国・四国支部もブースを出展しました。来場者の方々を対象に「上下水道コンサルタント業務等を紹介するパネル」の展示や「冷感タオル」、「ミネラルウォーター」、「水コン協の事業活動に関するパンフレット」などの配布を、支部長、副支部長及び幹事会社のスタッフが行いました。



写真-23 中国・四国支部のブーススタッフ集合写真



写真-24 中国・四国支部出展ブースの様子(1)



写真-25 中国・四国支部出展ブースの様子(2)



写真-26 中国・四国支部出展ブースの様子(3)

当日は、天候にも恵まれ大勢の方々が来場されました。配布物が無料ということもあり、ブースには行列ができるほどの大盛況で、多くの方々に下水道への理解や下水道事業についての意識向上を努めることが出来ました。

今後とも、積極的に社会貢献活動を行っていきます。

(11) 「ラブアース・クリーンアップ2023 inふくつ」

九州支部

九州支部では福津市が主催する「ラブアース・クリーンアップ in ふくつ」に10数年継続して、参加しています。令和5年度は、6月11日(日)に例年通り、福津・津屋崎海岸一帯で開催されました。

この事業は「地球環境と地域行動」の実践として市民・企業・行政が協力し、地域環境美化活動を実施することを目的に行われています。

ここ数年間、新型コロナウイルスの影響により、事業規模を縮小して開催していましたが、令和5年度より人数制限なく本格開催されました。朝9時からの開催にもかかわらず、市民、民間企業等、全体で1,038名が活動に参加し、このうち九州支部から95名の会員及び会員家族の



写真-27 九州支部集合写真

皆様に参加していただきました。

また、今回、主催者の原崎智仁福津市長が現地に立ち寄っていただき、九州支部のこれまでの活動実績に対して、御礼の言葉をいただきました。

九州支部としては、会員はもちろんのこと会員家族や友人が楽しみながら参加できるイベントの一つとして、今後も、環境保全活動に取り組んでいきたいと考えています。



写真－29 活動状況（2）



写真－28 活動状況（1）



写真－30 活動状況（3）